

広報誌



かけはし

2023年
冬号
No.69

TAKE FREE

【特集】

高齢者の精神科救急

がんマルシェ

はなひより「ボトルアクアリウム」

日精協 スクーリング

さすまた講習会

日記な後記



高齢者の 精神科救急

医師・看護師・精神保健福祉士の
患者さんとの関わりとつながり

当院の高齢者精神科救急について

医療部長 田島 孝俊

日本が超高齢化社会を迎えたことで、認知症や高齢者の精神科救急疾患も増加しています。当院ではその特性に合わせた治療体制の発足が急務と考え、2021年より認知症・高齢者（主に70歳以上）に特化した精神科救急疾患の病棟を設置しています。認知症はもとより、70歳以上のうつ病・躁うつ病・アルコール依存症・統合失調症・器質性疾患によるせん妄状態の方など、精神疾患の救急入院治療が必要な高齢者の患者さんすべてに、24時間365日対応できる病棟を目指しています。

また、高齢者の方は身体疾患の合併も多く、内科的治療も並行して行うことが必要です。入院時は十分な情報の収集が必要で、ご家族から病状について詳しくお聞きしたり、かかりつけの医療機関からの情報提供をお願いしたりすることも多くあります。身体疾患への注意を怠らず適切なケアができるよう、カンファレンスなどで検討を重ねています。

患者さんそれぞれに多様な病状があり、不安を抱えて周囲から孤立している患者さんやご家族も少なくありません。そのような状態にならないよう入院中に様々な検討を重ね、退院後も地域でケアできるよう、包括的な医療につなげる努力をしています。



患者さんの心に寄り添う看護を

B1病棟 課長 川上 浩和



当院の高齢者病棟に入院している患者さんは、認知症になっている方が多くいらっしゃいます。認知症の中核症状(記憶障害・見当識障害など)や周辺症状(徘徊・幻覚・幻視・せん妄・暴力など)によって日常生活が困難になり入院されるケースが多く、私たち看護師はそのような患者さんの入院生活のサポートを行っています。

患者さんは「〇〇がしたい」「〇〇してほしい」という自分の意思や希望を、明確な言葉や行動にすることが困難です。時には自分の意図しない言動をしてしまい、思い通りにならず落ち込んだり、怒りっぽくなったりすることもあります。私たちが心がけているのは、患者さんの尊厳を守りつつ、症状や行動を把握して生活を支援することです。また、患者さんの視点や立場を理解しながら、ケアを行うことを大切にしています。そのためには、患者さんの心理的なニーズを察知し、その人に合ったケアを見つけなければいけません。

患者さんが入院生活中に抱える不便・苦悩・悲しみなどへの理解を重視し、薬の効果だけでなく、看護の関わりからも症状を軽減していくことを目標に、患者さんの心に寄り添う看護を提供していきたいと思っています。

「より穏やかに過ごせる生活」を一緒に考えます

相談支援課 精神保健福祉士 筒井 幸絵



日常生活の中で「最近忘れっぽいことが増えてきた」「言葉が出てこなくなり『あれ』『それ』と言うことが増えた」「眠れなくなった」「食欲が出なくなった」などと感じることはありませんか？また、同居しているご家族に対して、心配に思っていることはありませんか？

上記のような心配事があった際にご相談いただければ、私たち相談員が「どのようなことでお困りなのか」「ご本人やご家族が今後どうしていきたいのか」などを皆さんと一緒に考え、受診や入院の流れなどについてお話しさせていただきます。

また、「今後も自宅で生活できるのか不安」「介護保険のサービスについてよく分からない」「どんな施設があるのか」といった心配もあると思います。ご相談された方の気持ちに寄り添い、本人にとって「より穏やかに過ごせる生活」について、お住まいの近くにある地域包括支援センターやケアマネジャーなどとも連携をとりながら、一緒に考えていきます。

受診は基本的に予約制になっているので、事前にご相談いただいた方がスムーズに受診につながります。直接相談したいという方も対応しておりますので、まずはお気軽にご相談ください。



日本精神科病院協会 通信教育 STANDARDコースのスクーリングが、10/27に当院で開催されました。以前にも当院で行われていましたが、コロナ禍の影響もあり、4年ぶりの開催となりました。

全国各地から60名の受講者が来院し、院長 熊谷の講話やグループミーティングなどを受講しました。メモを取ったり質問をしたりと積極的な姿勢が随所に見られ、受講者の皆さんだけでなく、当院にとっても有意義なものになりました。



さすまた講習会

危機管理の意識を高め、患者さんや職員などの身を守るため、今年も「さすまた講習会」を11/7に実施いたしました。

東警察署の方を講師としてお招きし、日頃の心構えや行動・防犯についての考え方・さすまたの有効な使い方や注意点などを教えていただきました。

何事も起こらないことが一番ですが、有事の際には適切な対応ができるよう、今回の学びを継続していきたいと思います。



日記な 後記



検査課

井手 耕介

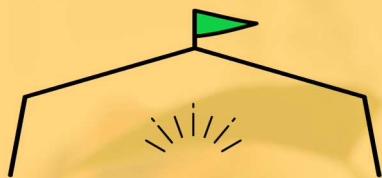


最近よく話題になるAIですが、皆さんは活用していますか？すでに広く利用されている音声アシスタントや、これから実用化が期待されている自動運転や医療診断など、様々な分野での恩恵が期待されています。

そういった社会の仕組みを変えてしまうほどの大きな話だけでなく、個人でもAIを使って楽しむことができます。それが「生成AI」で、AIを用いて文章や画像、さらには音楽まで作ることができます。

これらを制作するためには、通常は専門的な知識や技術が要求されます。しかしAIを用いれば、作文が苦手でも小説が書けたり、絵が描けなくてもイラストを作れたり、楽譜が分からなくても作曲できたりと、素人でも創作できるのです。

権利の問題があるため公開には注意が必要ですが、趣味として気軽に始めてみてはいかがでしょうか。



がん マルシェ

- 05 -

はなひより
ボトルアクアリウム



2021年11月にオープンの「はなひより」は、JR奈多駅より徒歩1分。観葉植物やボトルアクアリウム、メダカや雑貨や鉢など、部屋のインテリアにおススメなものがたくさん販売されています。

なかでも、テレビでも紹介された「ボトルアクアリウム」が人気。「水草やメダカに癒される」と大好評で、北九州や久留米など遠方から買いに来られる方もいるほどです。メダカの飼い方や水槽の手入れ方法など、初心者でも丁寧に教えてもらえます。お気軽にご相談してみてください。



- ・ボトルアクアリウム(ライト込) 12,000円～
- ・SONO水草パック 2,500円
- ・ガラス器 各種 1,950円～
- ・エアープランツ 各種 500円～
- ・観葉植物 各種 500円～
- ・鉢 380円～
- ・鉢カバー 1,650円～



はなひより

- 📍 福岡市東区奈多3-6-13
※ 店舗前に駐車場有
- ☎ 092-609-9667
- 🕒 11:00 ~ 17:00
- 📅 水曜日・土曜日



表紙の場所を訪ねて ～キリン柄クレーン～

アイランドシティ・コンテナターミナルにある6基のガントリークレーンのうち、一番東側にある。メンテナンスのために塗装しなおす必要があったが、近隣の小学生などの「クレーンがキリンに見える」という声を踏まえて、キリン柄に塗装された。高さは約100mあり、遠方からでもキリン柄まで確認することができる。

アイランドシティと対岸にある香椎パークポートのコンテナターミナルで、博多港の国際海上コンテナ貨物の約9割を扱っている。24時間365日体制で稼働し、ITを駆使したシステムによって一元的に管理されている。



「かけはしマップ」で場所をチェック！



かけはしマップ



医療法人優なぎ会

GANNOSU HOSPITAL

雁の巣病院



納得のいく医療

患者・家族の皆様、そして私たちが納得のいく医療の実践に努めます

精神科・心療内科・内科・リハビリテーション科・歯科

〒811-0206 福岡県福岡市東区雁の巣1-26-1

TEL 092-606-2861 FAX 092-607-2211

<http://www.gannosu.org>



診療時間

平日 9:00～17:00
土曜日 9:00～12:00
日・祝日 休診

外来受診は予約制となっております。 ※ 急患の際はこの限りではございません
24時間365日、ソーシャルワーカーが対応いたします。
まずはお電話にてご相談ください。

アクセス

【車でお見えになる方】

- ・高速道路利用
九州自動車道 古賀ICから約25分
- ・福岡都市高速道路利用
アイランドシティICから約7分

【JR九州をご利用の方】

香椎線 西戸崎方面(鹿児島本線 香椎駅で乗換)
雁ノ巣駅下車 徒歩 約5分

【西鉄バスをご利用の方】

行先番号：21A番, 21番, 210番, 220番, 直行
バス停「雁の巣」下車 徒歩 約2分

